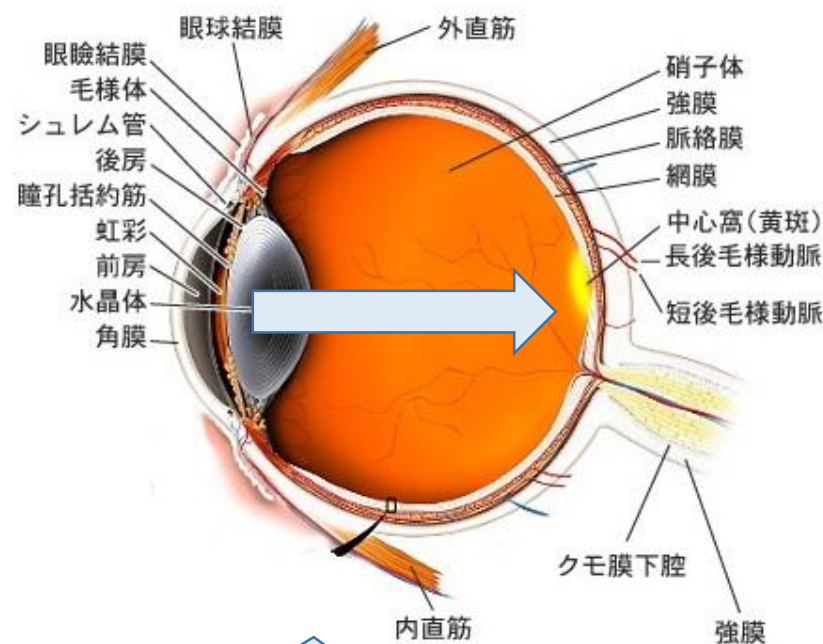


眼底とは

瞳孔から光を当てて眼球の奥を覗いたときに見える部分が**眼底**です。眼底にはたくさんの模様が描かれており、もっとも目立つのは「**網膜血管**」と「**視神経乳頭**」です。

網膜血管は唯一外から直接見ることのできる血管です。動脈硬化、高血圧、糖尿病などでおこる全身の血管の変化がここに現れます。



瞳孔から眼球の奥を覗いたときに見える部分が眼底です

眼圧とは

眼圧とは「目の中の圧力」、つまり「目の硬さ」のことを言います。目は水風船のように内部に房水という水分が含まれていて、房水が眼球内を流れることで目は球体を維持できています。

この水風船のような目がパンパンに膨らんで硬くなっているような状態を「眼圧が高い」と言います。

どんな検査をするの？

眼底検査

特殊なカメラで眼底の写真を撮るもので、
眼底に見える血管や神経を見る検査です。

眼圧検査

目に風を当て、目の表面を一時的にへこませる検査です。
眼圧が高い目では短時間ですぐに戻りますが、眼圧が
低い目では、元に戻るのに少し時間がかかります。
この時間を測定することで眼圧を測定しています。
眼圧が高すぎると視神経が痛むなどの障害がでてきます。

検査でわかる病気

眼底検査

網膜剥離、視神経疾患、眼底出血などの目の病気。
高血圧、動脈硬化、糖尿病の合併症の有無

〈2019年度広島共立病院受診データ〉

	受診人数	要精密検査（5判定）だった人
眼底検査	2709人	328人（12.1%）

※眼圧には判定区分が設定されていません

眼圧検査

緑内障、網膜剥離、脈絡剥離など

異常値だったら？

当院では眼底・眼圧検査について、異常値だった場合でも紹介状などの発行はしていません。しかし、視力につながることで、異常値が出た場合ははやめの眼科受診をお願いします。

眼底検査で脳卒中がわかるってほんと？

眼底カメラで見える網膜の血管は脳動脈から分岐しているため、脳の血管の状態を知る手がかりとなります。そのため動脈硬化が原因で起こる脳梗塞の予知にも役立ちます。

眼底・眼圧どちらをうけたらいいの？

どちらか片方だけの検査だけでは病気が見つからない場合があります。例えば眼圧の上昇により起こる緑内障ですが、正常範囲にもかかわらずなる方もいます。これを正常眼圧緑内障とよび、緑内障の約7割を占めるとも言われています。両方うけることで、病気の早期発見につながります。

目の病気にもっと関心を持とう！

○生活習慣によって起こりやすい眼病○

糖尿病性網膜症

血糖値が高いままの状態がつづくとも網膜に障害が起こり、**失明の原因になります。**

中心性網膜症

過労・ストレス、睡眠不足などが引き金となり、見え方にさまざまな障害が起きます。

眼精疲労

単なる疲れ目だけではなく、頭痛・肩こり・吐き気などにつながります。

○老化によって起こりやすい眼病○

白内障

目の中でレンズのはたらく水晶体がにごる病気です。全体的にかすんで見えるほか、視力が落ちたりします。

緑内障

炎症・外傷などの要因で眼圧が上がるために起こります。

失明の原因第1位。進行するまで無症状なので定期的に検査を受けることが大切です。

加齢性黄斑変性

加齢により網膜の中心部である黄斑に障害が生じ、見ようとするところが見えにくくなる病気です。**失明の原因第4位。**

○働く人に起こりやすい眼病○

ドライアイ

涙が不足したり成分が変化して質が悪くなることによって「目が乾く・ゴロゴロする」「目が疲れやすい」などの症状が現れます。

VDT症候群

VDT（コンピューターの画面などのディスプレイ機器）を使う作業によって起こる健康被害です。軽度では目のかすみ・痛み、なみだ目などの症状が現れ、進行すると頭痛・吐き気・めまいなどが、酷い場合には視力や視野がほとんどなくなったりします。

中心性網脈絡膜症

主にストレスが原因で、片目だけの視力低下、物がゆがんで見える、小さく見える、色が変わって見えるなどの症状が出ます。